

KB-KM, KW-KM

STIHL



2 - 15 取扱説明書



目次

1	コンビツール.....	2
2	はじめに.....	2
3	使用上の注意および作業方法.....	2
4	本機の使い方.....	5
5	承認されたコンビエンジン.....	7
6	運転準備.....	7
7	コンビツールの取付け.....	9
8	ハーネスの取付け.....	9
9	ユニットのバランス.....	10
10	エンジンの始動と停止.....	11
11	機械の保管.....	11
12	スリーピングアタッチメントの交換.....	11
13	整備表.....	12
14	磨耗の低減と損傷の回避.....	12
15	主要構成部品.....	13
16	技術仕様.....	13
17	整備と修理.....	14
18	廃棄.....	14
19	EC 適合証明書.....	15
20	UKCA 適合宣言.....	15
21	アドレス.....	15

1 コンビツール

STIHL コンビシステムでは、パワーツールとしてさまざまなコンビエンジンやコンビツールを組み合わせることができます。本取扱説明書では、コンビエンジンとコンビツールで構成される本体一式をパワーツールと呼びます。

そのため、パワーツールにはコンビエンジン用とコンビツール用の各取扱説明書が必要です。

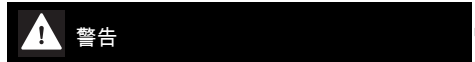
必ず**両方**の取扱説明書を読み、内容を理解してからパワーツールの使用を開始し、取扱説明書は以後の参照用に安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマークは、本取扱説明書で説明されています。

2.2 段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

2.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

そして、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

3 使用上の注意および作業方法



パワースイープとパワーブラシを使用して作業する場合は、特別な安全上の注意を守する必要があります。



初めて本機を使用する前に、両方の取扱説明書（コンビエンジンおよびコンビツール）を注意深くお読みになり、必要ときに参照できるように安全な場所に保管してください。取扱説明書を守りなければ生命に危険が及ぶ可能性があります。

パワーツールは、本モデルとその取扱いに精通している人以外に譲渡したり貸与したりしないでください。必ずコンビエンジンとコンビツールの取扱説明書の本機と共に手渡してください。

パワーブラシは、地面や通路の掃除にのみご使用ください。これには、凸凹で繋ぎ目がある面や自然石による舗装なども含まれます。

パワースイープは、表面や小道の清掃、濡れた葉や土などの湿ったゴミの掃き集め、除雪、水の除去にのみ使用してください。

本パワーツールをこれ以外の目的には使用しないでください - **事故の危険があります!**

STIHL が本パワーツールでの使用を承認したアクセサリー、または技術的に同等のアクセサリーのみを装着してください。これに関してご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

高品質のツールまたはアクセサリーのみを使用してください。これを怠ると事故やパワーツールの損傷につながる恐れがあります。

STIHL は、STIHL 純正のツールとアクセサリのご使用をお勧めします。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとしないでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

3.1 衣服と装備

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、適切なもので、作業の妨げにならないことが必要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたコンビスーツの作業服を着用してください。

枝、藪、機械の可動部などに引っかかるものを、身に付けしないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。



靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 規格（カナダは CSA Z94）に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

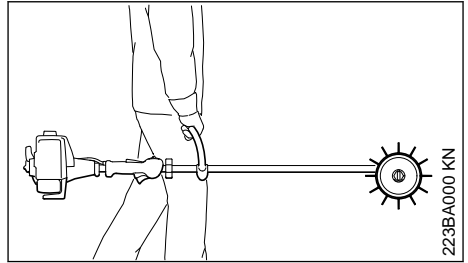
「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。



耐久性の高い素材製（革など）の作業用手袋を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

3.2 パワーツールの運搬



必ずエンジンを停止してください。

運搬用ハンドルを持ち、アタッチメントが身体の前側に来るようにし、熱くなったマフラーを身体から離して本機を運搬します。

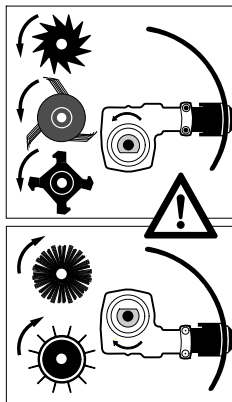
車両を使用して運搬する場合：転倒、破損、燃料漏れを防ぐために、パワーツールを適切に固定してください。

3.3 始動前

パワーツールが操作の安全性を確保できる状態であることを確認します - コンビエンジンとコンピツールの取扱説明書に記載されている関連項目を参照してください：

- アタッチメント：正しく取り付けられ、確実に固定され、完璧な状態にあることを確認します
- 両方のスパーアタッチメントが確実に取り付けられているか確認します
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください
- 防護装置に損傷や磨耗がないか点検します。デフレクターが損傷している機械は使用しないでください - 損傷している部品は交換してください。
- ハンドルはオイルや汚れが付着していない清潔で乾いた状態に保ちます - これはパワーツールを安全に操作するために重要です。
- 身体の大きさに合わせてハーネスとハンドルを調整します。「ハーネスの取付け」の章を参照してください。

パワーツールは、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます - **事故の恐れがあります！**



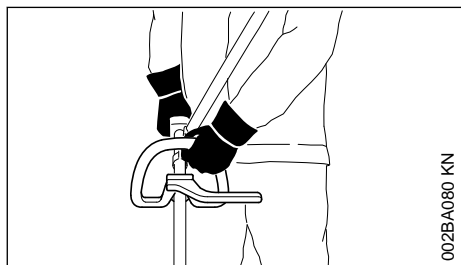
掃き掃除用のスーパーアタッチメントを使用する場合は、軸がドライブシャフトの上に来るようにギアボックスの位置を合わせます。

ハーネス使用中に緊急事態に備えて：機械を素早く取り外す練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷させないように注意してください。

損傷したスーパーアタッチメントは交換してください。

コンピエンジン取扱説明書の「始動前」に記載されている注意事項も参照してください。

3.4 機械の保持と操作



常にしっかりと安定した足場を確保してください。

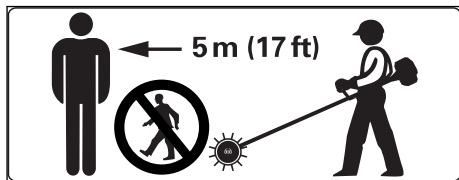
必ず両手でパワーツールのハンドルを保持します。

コントロールハンドルを右手で、ループハンドルを左手で握ります - 左利きの場合も同様です。

安全に操作できるよう、コントロールハンドルとハンドルに親指をかけて確実に握ります。

3.5 作業中

差し迫った危険や緊急事態が発生した場合は、スライドコントロール / 停止スイッチ / 停止ボタンを 0 または STOP にセットして直ちにエンジンを停止します。



作業者以外、半径 5 m 以内に立ち入ることは禁じられています - 飛散物によってケガをする危険があります！他の物体（車両、窓）からもこの距離を保ってください - 物的損害が生じる危険があります！

スロットルトリガーを放したときにアタッチメントが回転しないようにするには、エンジンを適正なアイドル回転数に調整されているか確認します。アイドル調整を定期的な点検および修正してください。それでもアイドル中にアタッチメントが回転する場合は、サービス店に点検と修理を依頼してください - コンピエンジンの取扱説明書を参照してください。

プラスチック製の床面で作業する際には、静電気が帯電することがあります - 感電や事故の恐れがあります！

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください - スリップする危険があります！

切り株、根などの障害物に注意してください - つまづく危険があります！

常にしっかりと安定した足場を確保してください。

イヤープロテクター（聴力保護具）を装着している場合は、より高い注意力が必要です - 危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください - 事故の恐れがあります！

日中、十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないように慎重に作業します。



作業中に発生する塵埃、噴煙、煙は、健康を害する恐れがあります。塵埃の発生量が多い場所では、防塵マスクを着用してください。

粉塵が舞い上がりやすい床面では、散水してから掃除を行ってください。

パワーツールに、設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に操作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください。「始動前」の項目も参照してください。特に、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、絶対に作業を続けしないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

機械とアタッチメントに適切なデフレクターを装着せずに作業することは絶対にお止めください。飛散物によりケガをする危険があります！



敷地を確認してください：石、金属部品などの固い物体が飛散する可能性があります！ケガをする危険があります！

全体を見渡すことができない敷地での作業には特に注意をしてください。

落ち葉の清掃時には、動物を傷つけないよう注意してください。

アタッチメントは、短い間隔で定期的に点検し、顕著な変化が生じた場合には直ちに点検してください：

- エンジンを停止し、機械を確実に保持します
- 状態が正常で、確実に固定されているかどうかを確認します
- 損傷しているアタッチメントは直ちに交換してください

本機を離れる前にエンジンを停止してください。

アタッチメントのホルダー部分を定期的に清掃します - 作業ツールまたはデフレクター周辺に溜まった異物や詰まりを取り除いてください。

エンジンを停止してからアタッチメントを交換します - ケガをする危険があります！

3.6 整備と修理

KB-KM、KW-KM コンビツールおよびコンビエンジンの取扱説明書に記載されている整備作業と修理のみを実施してください。それ以外のすべての修理は、スチール サービス店に依頼してください。

本機の整備や修理には、スチール純正交換部品のみを使用してください。他のメーカーの交換部品を使用すると、機械の損傷やケガが発生することがあります。

スィーピング アタッチメントには、どのような改造も加えようとししないでください。改造すると、作業者の安全を脅かすことがあります。

エンジンを停止します

- 整備や修理作業の前

- スィーピング アタッチメントの取外しおよび取付け前
- 問題に対処する前。

取扱説明書に書かれているとおりにパワーツールを保管してください - 「機械の保管」の章を参照してください。

4 本機の使い方

4.1 スィーパーアタッチメント

掃き掃除用のコンビツールには、パワーブラシ KB-KM とパワースィープ KW-KM の仕様があります。

4.2 準備

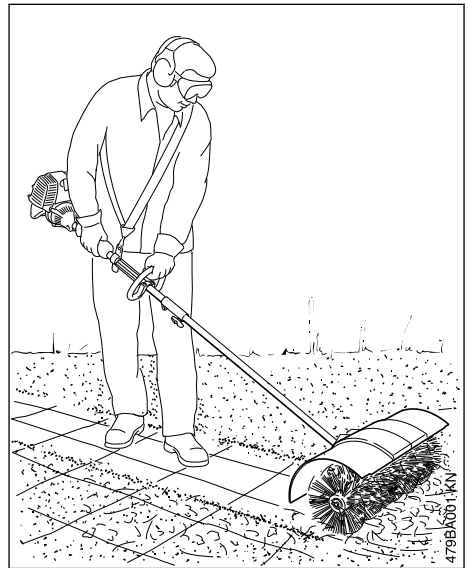
ほこりが出にくいですが 作業面が乾いている場合には軽く水を撒きます: ほこりが舞い上がりなくなります！

- ▶ 作業範囲にある障害物や異物はすべて取り除きます - 事故の恐れがあります！
- ▶ エンジンを始動します
- ▶ ハーネスを肩に掛けます

スィーパーアタッチメント付きコンビエンジンを使用する場合は、前方に向かってのみ作業します。

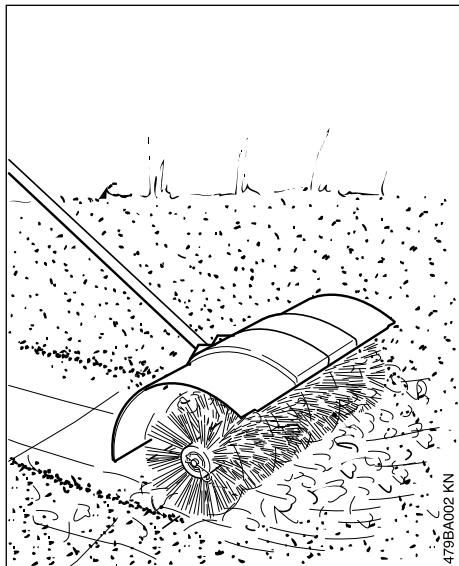
4.3 作業方法

4.3.1 パワーブラシ



コンビツールのパワーブラシ KB-KM は、地面や通路の掃除にご使用ください。この中には、凸凹

で繋ぎ目がある面や自然石の舗装なども含まれます。

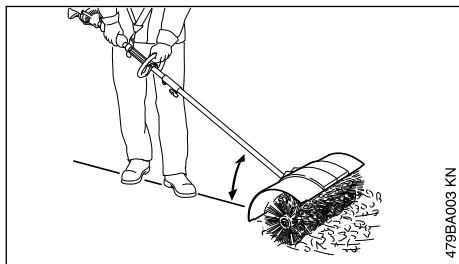


! 警告

必ずデフレクターと両方のデフレクター延長アタッチメントを取り付けて作業してください。ケガをする危険があります！

これらは、機械から異物が作業者の方に飛散してこないようにします。

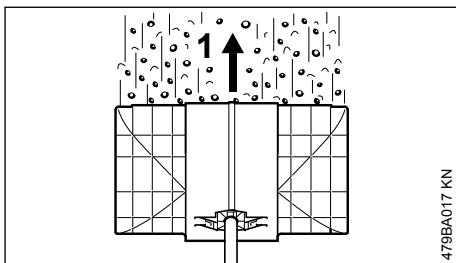
- ▶ 歩行速度で均等にパワーブラシを押し進めます



- ▶ 常に浅い角度でパワーツールを操作します

! 警告

上図よりも角度が大きくなるにつれて、ツールを制御するのが難しくなります。

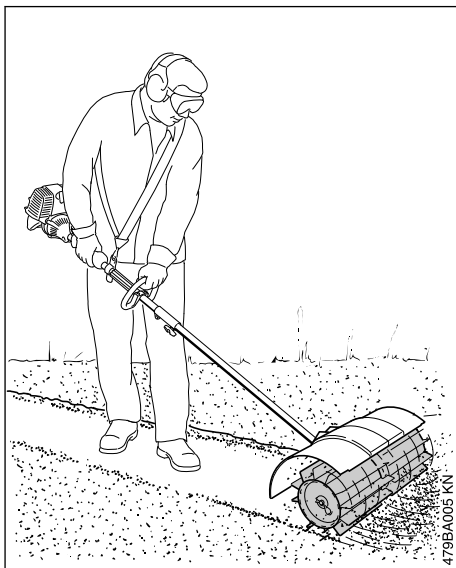


- ▶ パワーブラシを移動方向 (1) に対して直角方向に動かしてください - 汚れが作業者前方に飛散します

! 警告

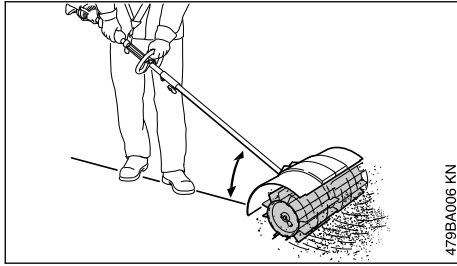
パワーブラシは作業者の方に押し戻されます。

4.3.2 パワースイープ



コンビツールのパワースイープ KW-KM は、表面や小道の清掃、濡れた葉や土などの湿ったゴミの掃き集め、除雪または水の除去にのみ使用してください。

- ▶ 歩行速度で均等にパワースイープを押し進めます



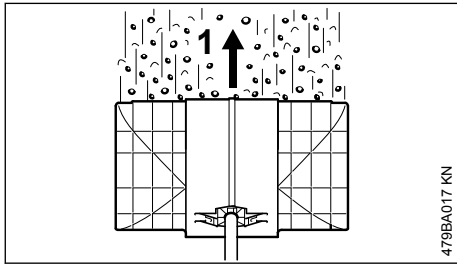
479BA006 KN

▶ 常に浅い角度でパワーツールを操作します



警告

上図よりも角度が大きくなるにつれて、ツールを制御するのが難しくなります。



479BA017 KN

▶ パワースイープを移動方向 (1) に対して直角方向に動かしてください - 汚れが作業者前方に飛散します。



警告

パワースイープは作業者の方に押し戻されます。

4.4 スーパーアタッチメントの清掃

スーパーアタッチメントの間やギャボックス周辺に溜まった異物、スーパーアタッチメントとデフレクターの間の汚れをきれいに取り除きます:

- コンビエンジンを停止し、スーパーアタッチメントが回転しなくなるまで待ちます。
- 軸からヒッチピンを抜き取ります
- スーパーアタッチメントを軸から引き抜いて清掃します
- 汚れを取り除きます

取付けについては「スーパーアタッチメント/コンビツールの交換」を参照してください。

5 承認されたコンビエンジン

STIHL 社が供給するか、STIHL 社がコンビツールとの使用を明示的に承認したコンビエンジンのみを使用してください。

このコンビツールは、次のコンビエンジンとの組み合わせのみで使用することができます:

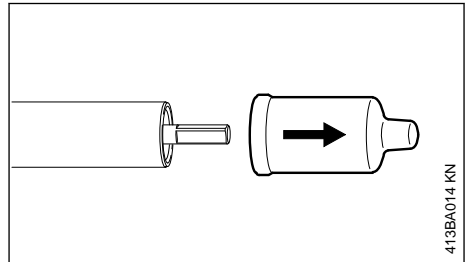
STIHL KM 56 R, KM 85 R¹⁾, KM 94 R, KM 111 R, KM 131 R, KM 235.0 R, KMA 130 R, KMA 135 R, KMA 80.0 R, KMA 120.0 R, KMA 200.0 R



警告

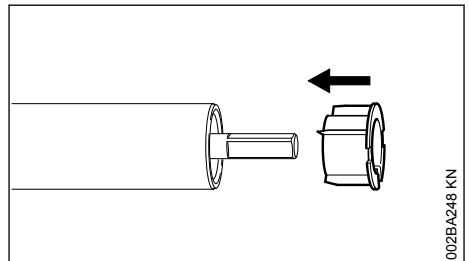
ループハンドル付きの機器には、バー (バリアバー) が装着されている必要があります。

6 運転準備



413BA014 KN

- ▶ シャフトの端部からプロテクトキャップを取り外し、後で使用するために保管してください - 「機械の保管」を参照してください



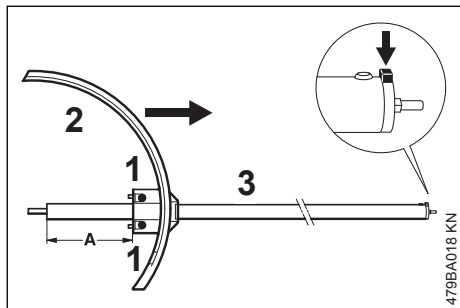
002BA248 KN

¹⁾ EU 域外のみ

注記

キャップを引き抜くときに、プラグがシャフトから抜ける場合があります。この場合、プラグがシャフトのリミットストップで止まるまで押し戻します。

6.1 デフレクターの取付け



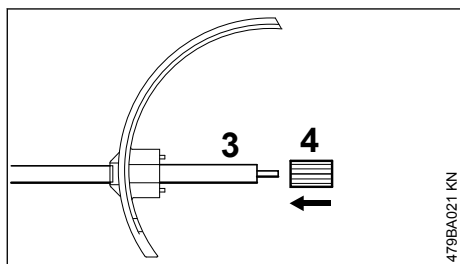
- ▶ 距離 (A) が 125 mm になるまで、デフレクター (2) をシャフト (3) に押し込みます。
- ▶ デフレクター (2) が垂直になり、シャフトの固定用突出部 (矢印) が垂直に上を向くようにデフレクターの位置を合わせます。
- ▶ クランプネジ (1) を軽く締め付けます



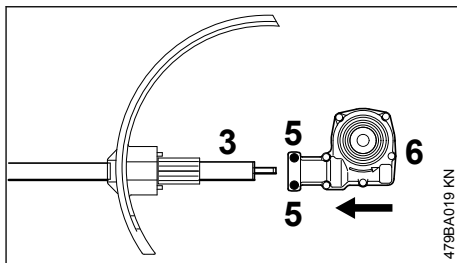
警告

デフレクターが固定されて、シャフト上で回らないことを確認します。

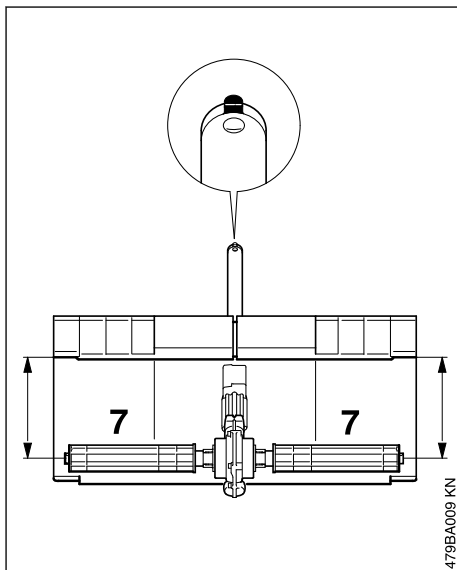
6.2 ギアボックスの取付け



- ▶ スリーブ (4) がリミットストップで止まるまでシャフト (3) に押し込みます



- ▶ クランプネジ (5) を外します
- ▶ ギアボックス (6) をシャフト (3) に押し込みます - その際ギアボックスを少し左右に回します



- ▶ ドライブシャフト (7) が水平で、デフレクターと軸との距離が均等になるように、シャフト上でギアボックスの位置を合わせます。
- ▶ クランプネジをしっかりと締め付けます

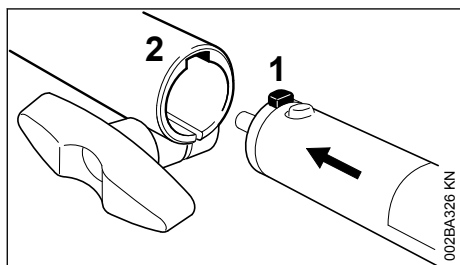


警告

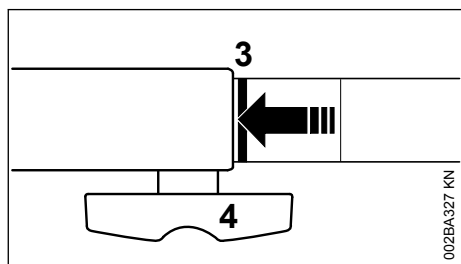
ギアボックスが固定されて、シャフト上で回らないことを確認します。

- ▶ 両方のスリーパーアタッチメントを取り付けます - 「スリーパーアタッチメントの交換」を参照してください

7 コンビツールの取付け



- ▶ ドライブ チューブの突出部 (1) をカップリングスリーブのスロット (2) に、止まるまで押し込みます。



適切に取り付けると、赤線 (3) (矢印で示した部分) がカップリングスリーブの端とぴったり重なります。

- ▶ スターノブ (4) をしっかり締め付けます。

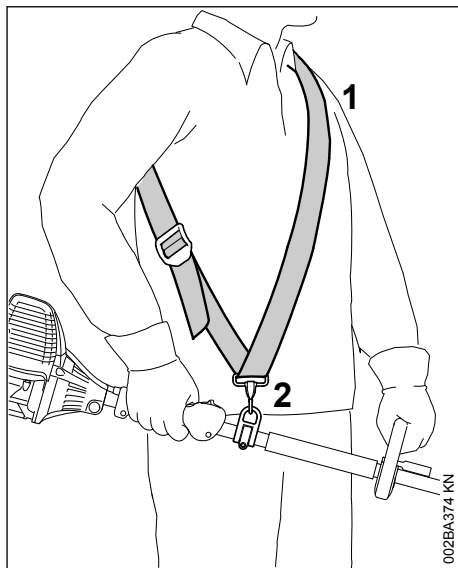
7.1 コンビツールの取外し

- ▶ ドライブ チューブを取外すには、上記と逆の手順を行います。

8 ハーネスの取付け

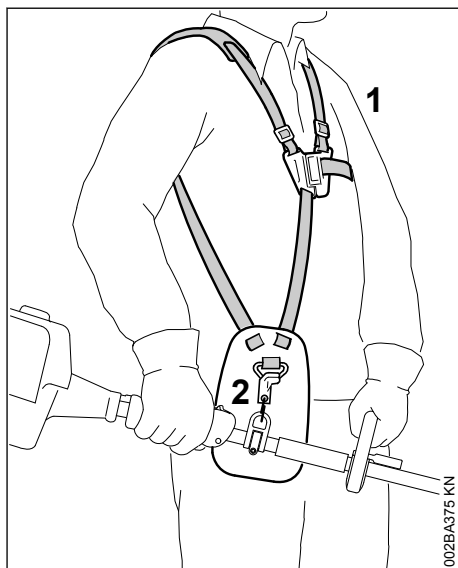
ハーネスとカラビナ (スプリングフック) のタイプとスタイルは、市場によって異なります。

8.1 肩掛けベルト



- ▶ 肩掛けベルト (1) を肩に掛けます。
- ▶ ベルトの長さを調整して、カラビナ (2) が、右腰から手幅分下の位置にくるようにします。
- ▶ 機械のバランスを取ります - 「機械のバランスの取り方」を参照してください。

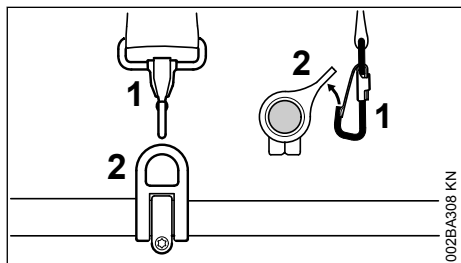
8.2 フルハーネス



- ▶ フルハーネス (1) を着用します。

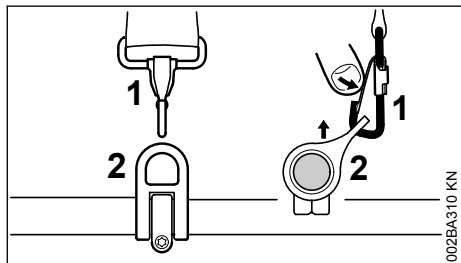
- ▶ ベルトの長さを調整して、カラビナ(2)が、右腰から手幅分下の位置にくるようにします。
- ▶ 機械のバランスを取ります - 「機械のバランスの取り方」を参照してください。

8.3 機械のハーネスへの取り付け



- ▶ カラビナ (1) をドライブチューブの吊り下げ用リング (2) に掛けます - 吊り下げ用リングをしっかりと保持します。

8.4 機械のハーネスからの取り外し



- ▶ カラビナ (1) のバーを押して、吊り下げ用リング (2) をカラビナから引き抜きます。

8.5 緊急時の機械の取り外し



差し迫った危険の場合、機械を素早く取り外す必要があります。非常時に備えて、機械を外して地面に降ろす練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷しないようにしてください。

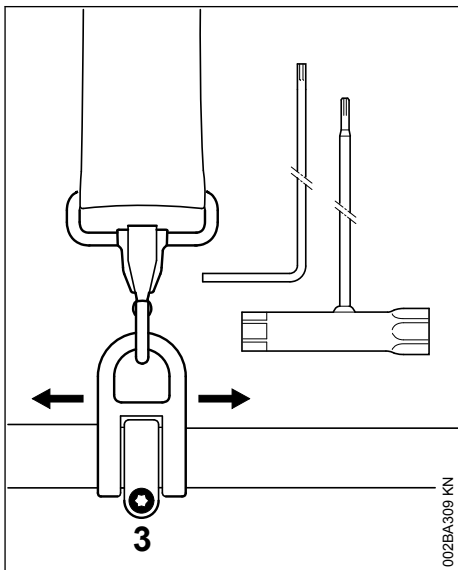
「機械のハーネスからの取り外し」の解説に従い、パワーツールをカラビナから取り外す練習をしてください。

肩掛けベルトを使用している場合：ストラップを肩から外す練習をしてください。

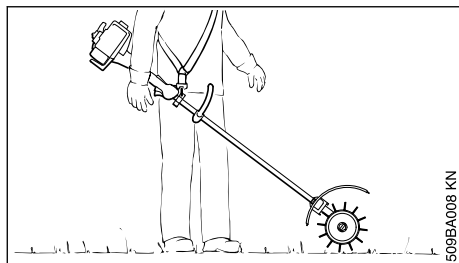
フルハーネスを使用している場合：ロックングプレートをすばやく開き、肩からハーネスストラップを外す練習をしてください。

9 ユニットのバランス

9.1 機械のバランスのととり方



- ▶ スクリュー (3) を緩めます。

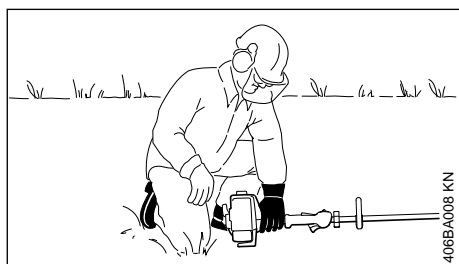
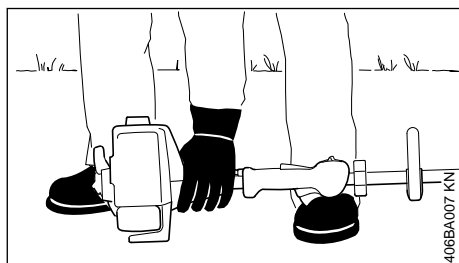


- ▶ スイーピングアタッチメントが地面につくまで、吊り下げ用リングをドライブチューブの上下にスライドさせます。
- ▶ 吊り下げ用リングのスクリューをしっかりと締め付けます。

10 エンジンの始動と停止

10.1 エンジンの始動

コンビエンジンおよび基本パワーツールの取扱説明書に、かならず従ってください。



- ▶ 機械を地面に置きます。

スイーピングアタッチメントが地面以外の障害物に触れないようにしてください - **事故の危険があります!**

- ▶ 立つか、かがむか、ひざまずいて、安定した足場を確保します。
- ▶ 機械を左手で押さえ、しっかりと下へ押し下す - コントロールハンドルのコントロール部に触れないでください - コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

注記

ドライブチューブに足を載せたりひざまずいたりしないでください。

警告

エンジン始動後すぐに、スイーピングアタッチメントが回転を始め、機械が動き始めることがあります。このため、始動後にスロットルを軽く引きます - エンジンがアイドル回転に戻ります。

使用しているコンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書に記載されている始動手順に従って、適正に始動してください。

10.2 エンジンの停止

- ▶ コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

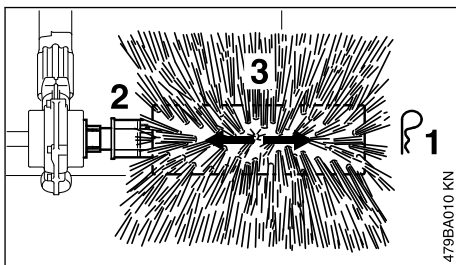
11 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

- ▶ スーパーアタッチメントを外して清掃し、損傷や摩耗がないか点検します
- ▶ コンビツールをコンビエンジンから分離して保管する場合：連結部が汚れないようにシャフトに保護キャップを装着します。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所に保管してください。(子供など) 承認されていない人が使用しないように確保してください。

12 スイーピングアタッチメントの交換

12.1 プリスル ブラシ



12.1.1 取外し

- ▶ ヒッチピン (1) を軸 (2) の端から取り外します。
- ▶ プリスル ブラシ (3) を軸から引き抜きます。

12.1.2 取付け

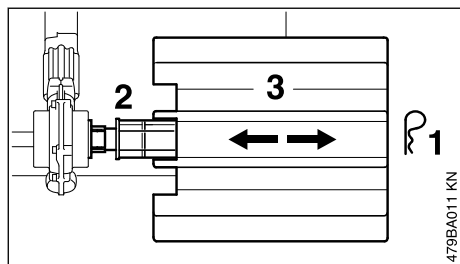
- ▶ プリスル ブラシ (3) を軸に押し込みます。

- ▶ ヒッチピン (1) を軸端の穴に差し込み、横に折り込みます。
- ▶ もう一端のブリスル ブラシも同じ手順で取り付けます。

**警告**

常に両側にブリスル ブラシを取り付けます。

12.2 パワースーパー



12.2.1 取外し

- ▶ ヒッチピン (1) を軸 (2) の端から取り外します。
- ▶ スーパー ドラム (3) を軸から引き抜きます。

12.2.2 取付け

- ▶ スーパー ドラム (3) を軸に押し込みます。
- ▶ ヒッチピン (1) を軸端の穴に差し込み、横に折り込みます。
- ▶ もう一端のスーパー ドラムも同じ手順で取り付けます。

**警告**

常に両側にスーパー ドラムを取り付けます。

13 整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常にほこりの多い場所など) は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。

全てのスクリューとナット

- ▶ 必要に応じて締め付けます

スリーピング アタッチメントおよびデフレクター

- ▶ 作業の開始前と燃料給油後に目視で点検し、締め付け具合を検査します
- ▶ 損傷している場合は交換します

安全ラベル

- ▶ 判読できない安全ラベルを交換します

14 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書とコンビエンジンの取扱説明書の記述を遵守して使用すると、パワーツールの過度の磨耗や損傷が回避されます。

パワーツールの使用、整備並びに保管は、これらの取扱説明書の記述に従って十分な注意をはらって行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

14.1 整備作業

「整備表」の章に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

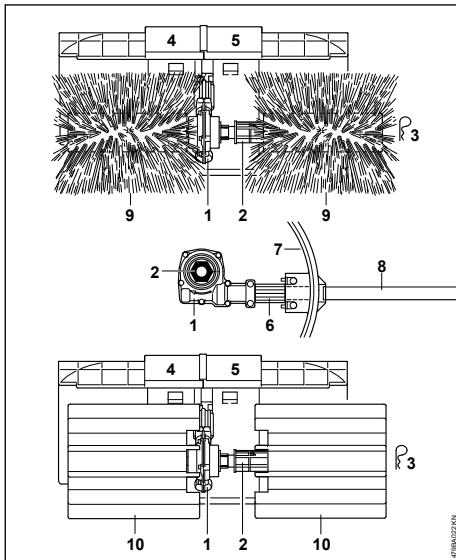
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる当製品の損傷。

14.2 磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- スリーピング アタッチメント (ローラー ブラシ、スーパー ベルト)
- デフレクター、デフレクター延長アタッチメント

15 主要構成部品



15.1 ブリッスル ブラシ、パワースイーパー

- 1 ギアボックス
- 2 スピンドル
- 3 ヒッチピン
- 4 デフレクター延長アタッチメント、右
- 5 デフレクター延長アタッチメント、左
- 6 スリーブ
- 7 デフレクター
- 8 ドライブチューブ

15.2 ブリッスル ブラシ

- 9 ローラー ブラシ

15.3 パワースイーパー

- 10 スイーパー ベルト付きパワースイーパー

16 技術仕様

16.1 スイッピング アタッチメント

16.1.1 KB-KM

ローラー ブラシ 2 個
 直径： 250 mm
 装着時幅： 600 mm

16.1.2 KW-KM

スイッピング ドラム 2 個
 直径： 270 mm
 装着時幅： 600 mm

16.2 重量

デフレクターとドライブ チューブ付きの状態
 KB-KM： 6.4 kg
 KW-KM： 7.4 kg

16.3 騒音・振動数値

コンビツール KB-KM および KW-KM を搭載した
 パワーツールにおける音響値・振動値は、アイド
 リング回転数と最大定格回転数の運転状態を 1:6
 の割合で考慮した上で測定しています。

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守
 の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。

16.3.1 ISO 6081 に準拠した音圧レベル L_{peq}

ループハンドル付き KM 85 R： 96 dB(A)

16.3.2 ISO 11201 に準拠した音圧レベル L_{peq}

ループハンドル付き KM 56 R： 96 dB(A)
 ループハンドル付き KM 94 R： 95 dB(A)
 ループハンドル付き KM 111 R： 98 dB(A)
 ループハンドル付き KM 131 R： 98 dB(A)
 ループハンドル付き
 KM 235.0 R： 102 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 130 R： 81 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 135 R： 78.3 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 80.0 R： 77 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 120.0 R： 77 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 200.0 R： 78 dB(A)

16.3.3 ISO 3744 に準拠した音響パワーレ ー L_{weq}

ループハンドル付き KM 56 R： 106 dB(A)
 ループハンドル付き KM 85 R： 108 dB(A)
 ループハンドル付き KM 111 R： 108 dB(A)
 ループハンドル付き KM 131 R： 109 dB(A)
 ループハンドル付き
 KM 235.0 R： 110 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 130 R： 90 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 135 R： 89.9 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 80.0 R： 91 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 120.0 R： 91 dB(A)
 ループハンドル付き
 KMA 200.0 R： 92 dB(A)

16.3.4 ISO 11201 に準拠した音響パワーレベル L_{weq}

ループハンドル付き KM 94 R : 106 dB(A)

16.3.5 ISO 7916 に準拠した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$

左ハンドル 右ハンドル

KB-KM, KW-KM

ループハンドル付き 3.8 m/s² 5.5 m/s²
KM 85 R :

16.3.6 ISO 20643 に準拠した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$

左ハンドル 右ハンドル

KB-KM

ループハンドル付き 8.2 m/s² 8.2 m/s²

KM 56 R :

ループハンドル付き 3.8 m/s² 3.5 m/s²

KM 111 R :

ループハンドル付き 4.6 m/s² 4.8 m/s²

KM 131 R

ループハンドル付き 3.7 m/s² 4.3 m/s²

KM 235.0 R

ループハンドル付き 2.8 m/s² 2.9 m/s²

KMA 130 R :

ループハンドル付き 3.3 m/s² 2.4 m/s²

KMA 135 R :

ループハンドル付き 2.4 m/s² 2.0 m/s²

KMA 80.0 R :

ループハンドル付き 2.6 m/s² 1.9 m/s²

KMA 120.0 R :

ループハンドル付き 3.6 m/s² 2.2 m/s²

KMA 200.0 R :

左ハンドル 右ハンドル

KW-KM

ループハンドル付き 8.5 m/s² 7.5 m/s²

KM 56 R :

ループハンドル付き 3.5 m/s² 3.5 m/s²

KM 111 R :

ループハンドル付き 4.7 m/s² 4.7 m/s²

KM 131 R

ループハンドル付き 3.7 m/s² 4.3 m/s²

KM 235.0 R

ループハンドル付き 2.7 m/s² 2.9 m/s²

KMA 130 R :

ループハンドル付き 2.3 m/s² 2.0 m/s²

KMA 135 R :

ループハンドル付き 2.4 m/s² 2.0 m/s²

KMA 80.0 R :

ループハンドル付き 2.6 m/s² 1.9 m/s²

KMA 120.0 R :

ループハンドル付き 3.6 m/s² 2.2 m/s²

KMA 200.0 R :

16.3.7 ISO 22867 に準拠した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$

左ハンドル 右ハンドル

KB-KM

ループハンドル付き 4.5 m/s² 5.5 m/s²
KM 94 R :

左ハンドル 右ハンドル

KW-KM

ループハンドル付き 4.6 m/s² 6.0 m/s²
KM 94 R :

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

16.4 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com


17 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

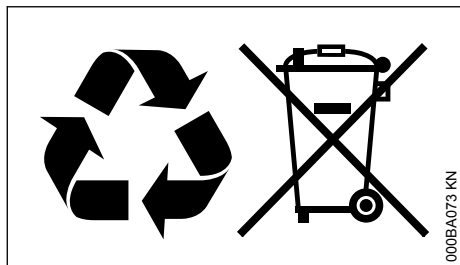
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

18 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

19 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル： コンビツール パワー
ブラシ/パワースイ
プ
製造ブランド： STIHL
タイプ： KB-KM
KW-KM
シリアル番号： 4601

指令 2006/42/EC の関連する条項に適合しており、製造開始時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100 (指定された KM-モデルに関連)

EN ISO 12100, EN 60335-1, EN 60335-2-72 (指定された KMA モデルに関連)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022 年 9 月 19 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

20 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル： コンビツール パワー
ブラシ/パワースイ
プ
製造ブランド： STIHL
タイプ： KB-KM
KW-KM
シリアル番号： 4601

英国規則 Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008 の関連する条項に適合しており、製造開始時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100 (指定された KM-モデルに関連)

EN ISO 2100, EN 60335-1, EN 60335-2-72 (指定された KMA モデルに関連)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022 年 9 月 19 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

21 アドレス

www.stihl.com

www.stihl.com



0458-479-4321-B



0458-479-4321-B